

令和4年度 日本赤十字救急法講習会便り

2022/09/29

養護教諭研究会

9月13日(火)に152A講義室, 85周年記念館大体育室にて開催されました「日本赤十字社救急法基礎講習」(以下, 赤十字救急法講習会)では, ご参加いただきました多くの皆様にご理解とご協力をいただきありがとうございました。3年ぶりの対面での実施となりましたことを大変喜ばしく思います。日本赤十字社の皆様からの分かりやすいご講義や, 物品を用いて協力しながら行った実技演習の時間は大変有意義なものであったのではないのでしょうか。

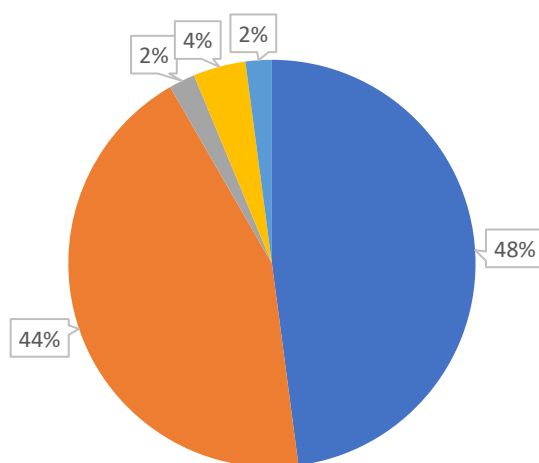
今回は, 当日の参加者の皆様に提出いただいたアンケートを集計し, 次年度の養護研究会の運営に向けた展望を掲載いたしましたので, ぜひご覧ください。

調査実施日:令和4年9月14日(水)~9月22日(木)

参加者数:52名(4年生:8名, 3年生:13名, 2年生:21名, 1年生:10名)

回答者数:48名(回答率:92.3%)

今回の「赤十字救急法講習会」に対する満足度はどの程度ですか。



■非常に満足した ■満足した ■どちらでもない ■やや不満 ■不満

今回の赤十字救急法講習会が満足できる内容であったと回答された方が多くいらっしゃいました。

参加された方々の感想として、「傷病者発見から救急隊への引渡しまでの流れを何度も入念に確認することができて、しっかり覚えることができました。対面で講習会を受けることができてよかったです。」「心肺蘇生を1人で長く続けることは難しいため、周囲の人と交代すること、またAEDの使い方や傷病者の方への配慮を学ぶことができました。」など、対面で講習を受けることによって学びが深まったという感想が集まりました。

また、「気道異物除去の方法は今回初めて習ったので、今後何か詰まらせた方が近くにいたら学んだことを活かしたいと思った。」「今までこのような講習会では胸骨圧迫や人工呼吸などしかしてこなかったが、回復体位や異物除去について学ぶことができたのでとても参考になった。」といった、心肺蘇生法だけではなく異物除去の技術も習得でき、学びが深まったことについても感想が集まりました。

次回に向けて・改善策

今回の赤十字救急法講習会は対面での開催でした。前年度のオンライン開催時よりも、参加された皆様が協力したり、講師の方々から助言をいただいたりして、よりの確な胸骨圧迫の方法や人工呼吸の方法を学ぶことができたのではないかと思います。運営の養護教諭研究会に対するあたたかい意見もたくさんいただきまして、誠に感謝申し上げます。

改善点としては、講習中や実技演習中に講師の方々や先生方が使用したマイクの不備(声が聞こえづらかった)、質問の時間や各自話し合ってお互いの技術を高める時間が少なかったことだと考えます。より事前準備を入念に行い、参加される皆様の時間をより有意義にするために改善してまいります。

最後に

今年度の赤十字救急法講習会は3年ぶりの対面での開催でしたが、先生方や日本赤十字社の皆様、そして参加者の皆様のご協力により実施することができました。

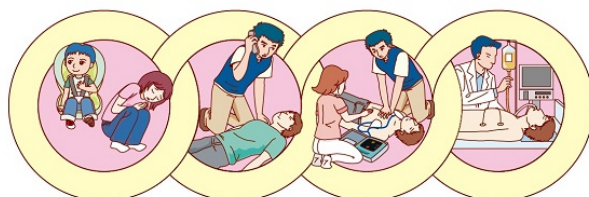
当日は9月といえども蒸し暑く、予想外の気温となりましたが、皆様のご協力のおかげで無事に実施できましたこと、大変嬉しく思います。ご協力ありがとうございました。今回の体験が力となり、誰かを助けるための勇気を持つことができたのではないのでしょうか。講義と実技演習により、救命の連鎖の大切さや助け合うことの大切さを学ぶ機会となったのではないかと思います。

今回の講習会で挙げられた皆様の貴重なご意見を来年度に活かし、より良い会を開催できるよう、次の養護教諭研究会に引き継がさせていただきます。

これからの救急実践場面に活かしていきましょう！

救命の連鎖

『心停止の予防』、『心停止の早期認識と通報』、『一次救命処置（心肺蘇生とAED）』、『二次救命処置と心拍再開後の集中治療』をそれぞれ4つの鎖の輪に例え、これらの鎖が迅速に途切れることなく連携されることで救命率が向上することを表しています。



心停止の予防 早期認識と通報 一次救命処置（心肺蘇生とAED） 二次救命処置と心拍再開後の集中治療

出典: 1 日本赤十字社 救命の連鎖

[\(HTTPS://WWW.JRC.OR.JP/STUDY/SAFETY/RESCUE/\)](https://www.jrc.or.jp/study/safety/rescue/)

当日の様子

